

2019年4月18日

福島県知事 内堀雅雄 様

日本共産党福島県議団
団 長 神山 悦子
副団長 阿部裕美子
〃 宮川えみ子
幹事長 宮本しづえ
政調会長 吉田 英策
日本共産党会津若松市県政対策委員長
古川 芳憲

オスプレイ飛行中止を求める緊急申し入れ

4月9日と11日に喜多方市で、15日と16日に古殿町で、相次いでCV-22オスプレイ機の飛行が確認され、県議団にも県民から不安の声が寄せられています。防衛省東北防衛局から県危機管理部へ「本日夕方、CVオスプレイ2機が横田を離陸し三沢に着陸、その後、本日夕刻、三沢を離陸し横田に着陸予定」との事前連絡が入り、これを受け、県は市町村に「本県上空を通過する可能性がある」との情報提供をしています。

しかし、飛行ルートの詳細な情報提供はなく、本県上空を通過する可能性があるとの情報提供のみでは不十分であることは、誰の目からも明らかです。喜多方市山都町では、山都中学校上空を西から東に向かって、オスプレイ2機が並んで低空飛行しているのが目撃されています。また古殿町住民からは、窓ガラスがビリビリと振動で音がするほどの低空飛行が行われているとの報告です。オスプレイは、墜落事故が起きるなど未亡人製造機とさえ揶揄される極めて危険な飛行機であり、事故が頻発、騒音や低周波音などで住民被害も相次いでいます。県内でのこのような度重なるオスプレイ飛行に対し、住民の安全・安心が脅かされていることから、県として緊急に抗議すべきです。

従来の低空飛行訓練ルートには、福島県の阿武隈山系や、会津地方の上空も訓練ルートに含まれており、全国知事会もオスプレイ飛行への反対決議をあげています。原発立地県にオスプレイを飛ばすことは断じて許されません。よって、以下申し入れます。

記

- 1、県民の安全・安心のため、オスプレイの飛行を中止するよう国に求めること。
- 2、防衛省東北防衛局からの情報提供では、飛行ルートが明らかにされていないことから、事前にルートを明らかにするよう国に求めること。また、事前に明らかにされない場合、強く抗議するとともに事後報告を求めること。
- 3、県は、関係市町村へ直ちに周知するとともに、何らかの形で県民にも情報提供すること。
- 4、低空飛行訓練の中止を求めるとともに、住宅地・公共施設・学校等の上空は飛行しないよう国に求めること。
- 5、日米地位協定の見直しを国に求めること。

以上